

このたびの2024年1月1日に発災した石川県能登地方を震源とする能登半島地震により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方、そのご家族及び関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

日本太鼓財団では被災された太鼓関係者の方たちへの支援を行うため、寄付金のお願いを開始いたしました。また、素早かつ確かな支援を目指すため、石川県に常駐する職員を置き、被災された方々の声をうかがいながら、刻々と変化する被災地の状況に応じた支援を進めております。

今回は支援の第1弾として、輪島市の太鼓チーム3団体(御陣乗太鼓保存会、輪島和太鼓虎之介、輪島高洲太鼓)の代表者と連絡を取り、ご要望に添った緊急物資の配布を1月11日に行いました。現地状況と支援物資内容を現地職員からご報告いたします。

*

*

*

2024年1月11日(木)

朝晩はマイナス3度の気温であり、道路横の草木一面に霜が降りている。日が昇っても山間部はマイナス1℃～3℃を計測する。間隔が長くなっているが震度3～4の余震は続いている。

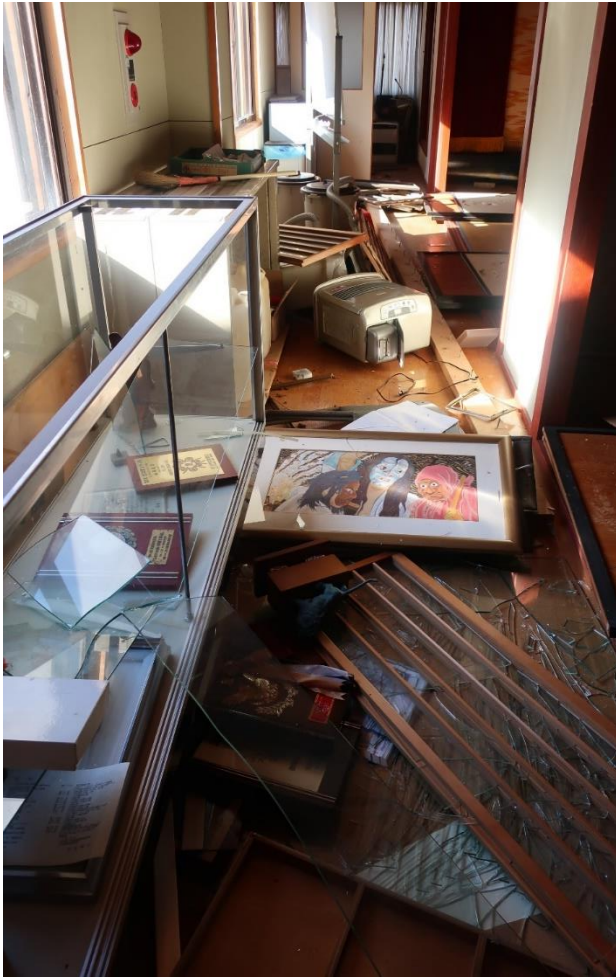
主要道路は通行止めのままであり、一部山間部の道路が応急処置で通れるようにはなっているが、輪島方面に向かうにつれ道路のひび割れや陥没が増え、雪のため道路と崖の区別がつきにくい。土砂崩れや家屋倒壊も見られるようになり、断水・停電は多くの地域で解消されることなく、公衆トイレは汚物が積み重なっている。電波は届かない場所が多い。

御陣乗太鼓保存会(輪島市名舟町)

名舟町では町民総避難指示が発令されており、物資による支援ではなく被災者の安全と太鼓関連の文化保全・運び出しを優先した。1月13日(土)に避難が完了し、名舟町はいったん封鎖された。

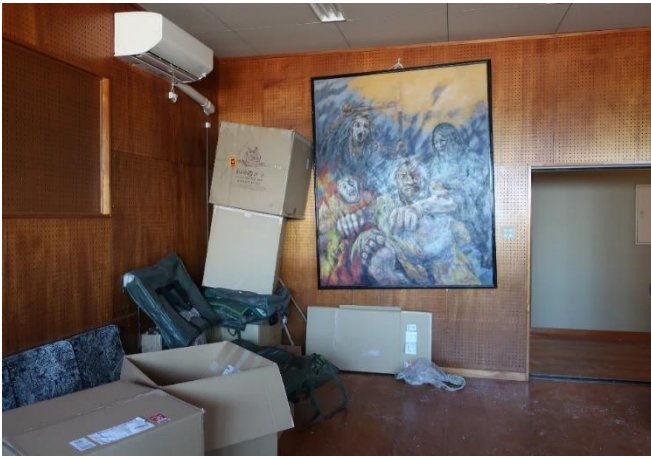
名舟町集会所 御陣乗太鼓会館





御陣乗太鼓会館は、保存会の事務局として、御陣乗太鼓のこれまでの歩みとなる資料が保管され、練習場所としても使用されている。歴史の深さと類がない打ち方は、石川県指定無形民俗文化財・輪島市指定無形民俗文化財にも指定されており、名舟町に生まれた男性にしか受け継がれることがない伝統の太鼓の継承場所である。

30年程前、御陣乗太鼓会館を建てた際に、同保存会のメンバーである蒔絵師 濱高悦朗氏が制作した総輪島塗の御陣乗太鼓の絵が飾られている。保存会発足の初代メンバー(池田庄作・北岡周一・吉根甚栄・高野正行・松浦政和・鍵谷吉松・山下佳秋)の演奏の様子が描かれている。



御陣乗太鼓保存会の皆様は全員無事であり、そして太鼓も無事であったが、町民総避難の対象地区となり貴重な資料をすべて持ち出すことは難しく、お面や太鼓台など限られた物のみ運び出した。これらの品は被災地支援に連携、協力頂いている浅野太鼓楽器店に保管し、御陣乗太鼓の方々と協力し保全に努める。

保管物(一部掲載)



400年以上前から受け継がれてきたお面も含まれている。

石川県指定無形文化財 指定書



輪島市指定無形文化財 指定書





残りの太鼓は後日運び出す。



同保存会メンバーで蒔絵職人でもある北岡様が浅野太鼓より獅子の絵を依頼された楽太鼓。被災されたご自宅からほぼ無傷で見つかる。

名舟町の様子

白山神社（奥津比咩神社）

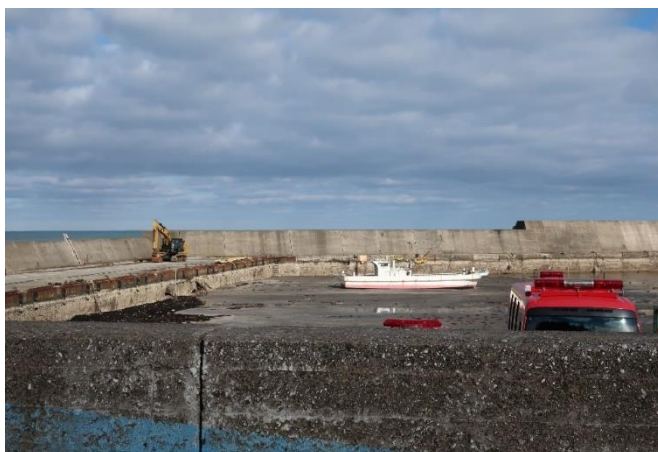


倒壊した拝殿（写真右建物）



ショベルカーの下辺りに奉納舞台が埋まっている

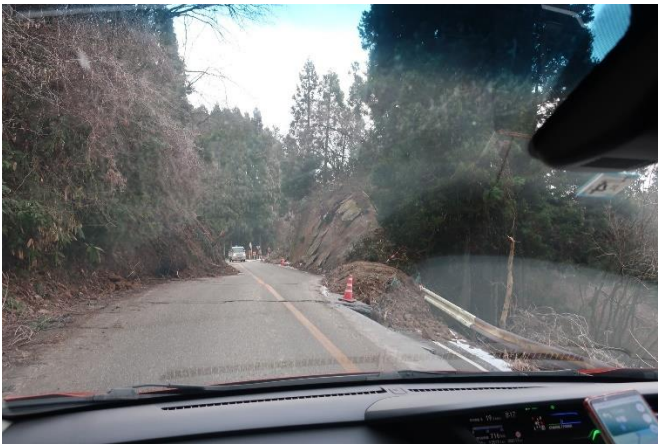
町の神事には欠かせない神社であり、毎年行われる「名舟大祭」では子どもをはじめとする御陣乗太鼓の奉納打ちが披露される場所である。倒壊した拝殿の下に御陣乗太鼓が奉納演奏する舞台やそのための小屋があったが、土砂崩れに巻き込まれた。



海底隆起により海岸線が後退し、名舟漁港には砂地となった上に船がある。
この地域でしか採れない海藻「エビアマモ」が御陣乗太鼓のお面の髪の毛に用いられている。



津波の被害はほとんどなかったものの、道路が40センチほど隆起している場所が多く、家の裏は土砂崩れが起きている。現在も名舟から輪島・珠洲に行く主要道路は通行止めとなっており、災害当初は陸の孤島となっていた。



町民説明会において“名舟町のライフライン復興完了には約2年、農業や漁業が出来るようになるまでには10年かかる”と聞いたと御陣乗太鼓保存会の方からお話を伺った。メンバーの中には、輪島塗の職人や酒屋、漁業などに従事されている方もいらっしゃり、長期避難による職の確保や安定は不透明である。

近年の若者の人口流出と少子化による継承者不足の問題があがっていた中、今回の能登半島地震と期間が定まらない町の封鎖により、現時点では名舟町の未来像は描きづらくなっているが、いつの日か町民の方たち、御陣乗太鼓の方たちが名舟町に戻れることを願ってやまない。

また、御陣乗太鼓の活動のすべては町の収益として還元されており町民の生活を支えていた。名舟町の自然や風土と御陣乗太鼓とは切り離せないものである。

輪島和太鼓虎之介(輪島市中心部)

輪島高洲太鼓

両団体とも会員無事の確認は取れているが、家屋は全壊・半壊の方々が殆どで住める状態ではないと伺う。市外への1.5次避難や2次避難が始まり、代表者が現地に残っている方々に声をかけ支援物資の要望を取りまとめ、輪島市消防署と工房長屋で待ち合わせし支援物資を届ける。仮設用トイレは何カ所かあるが、断水や停電の場所もあり、電波が届かないエリアがある。

11日現在でも、入浴や肌着の交換が一度もできていなかった方もいた。水が使えても冷たいままなので、握った手はカサつき冷たい。土砂崩れと地割れにより孤立している町があり、輪島和太鼓虎之介と輪島高洲太鼓が太鼓の保管・練習場所として使っている鶴巣公民館(旧輪島市立深見小学校)もその町にあたる。

両団体とも、年明けに太鼓演奏のイベント予定が入っていたので、輪島和太鼓虎之介は太鼓の一部をトラックに保管しており、輪島高洲太鼓も一部をホテルこうしゅうえんに置いている。

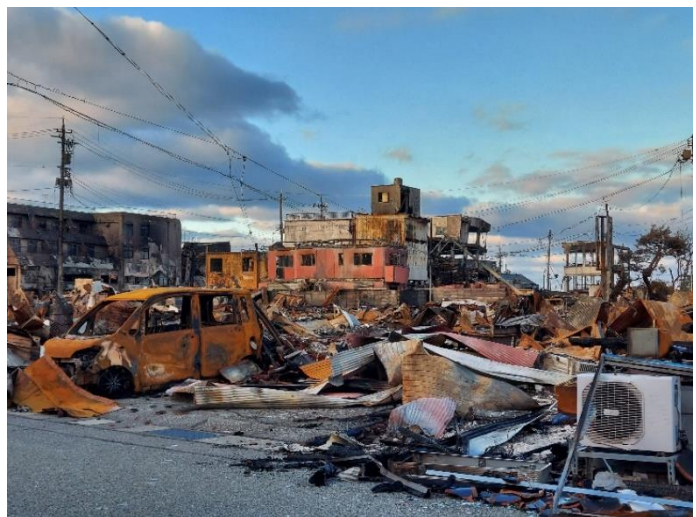
鶴巣公民館への道がつながり、状況が落ち着き次第、代表者と共に再度現地入りする予定である。

輪島和太鼓虎之介は、3月に開催されるジュニアコンクールの石川県代表チームであり、子ども達は親元を離れ、ほぼ全員が金沢市・白山市に集団避難中である。

保管・練習場所として使っている鶴巣公民館への道路(石川県太鼓連盟会員写真提供)



輪島市中心部の様子



輪島市の中心部は「危険」「要注意」という張り紙がされていない家屋を見つけるのが難しいほどの状況であった。

道路が寸断され支援物資が届けられない場所以外は、水・簡単な食料が行き渡っている状態だが、入浴できない、肌着や着替えがないといった要望や、味噌汁・スープ類、少しほっと出来る甘いお菓子やコーヒーなどの要望があり、浅野太鼓楽器店と協力のもと、それらを中心に支援を行った。支援物資内容は次ページに掲載する。

日本太鼓財団 支援物資一覧表 (2024.1.11)

御陣乗太鼓保存会			
購入先	項 目	数量	金額
清水産業	ブルーシート	7枚	13,860
		合計	13,860
輪島高洲太鼓			
購入先	項 目	数量	金額
清水産業	ブルーシート	5枚	
	土のう袋	50袋	
	ジョイントロープ	100本	11,924
イオン松任	お湯のいらないシャンプー	1本	
	体拭	1個	1,537
ユニクロ	男性用服	4枚	
	女性用服	4枚	13,130
プラント	菓子 (柿の種)	1袋	480
イオンもりの里	女性用ズボン	2本	
	女性用靴下	2足	
	男性用靴下	3足	
	男性用下着	1枚	7,170
A v a i l	男性用肌着上	3枚	
	男性用肌着下	3枚	
	女性用肌着上	6足	
	女性用肌着下	6枚	15,180
		合計	49,421
輪島和太鼓虎之介			
購入先	項 目	数量	金額
清水産業	ブルーシート	8枚	
	土のう袋	50袋	
	ジョイントロープ	400本	18,854
プラント	菓子 (柿の種)	1袋	
	飴	1袋	
	カップうどん	2箱	
	カップラーメン	2箱	
	インスタントスープ	15袋	
	インスタント味噌汁	3袋	
	インスタントコーヒー・砂糖・ミルク	3箱	
	ふりかけ・混ぜご飯の素	9袋	
	ゼリー	4袋	
	おしるこ	10個	17,210
J A グリーン松任	ごはんパック12パック入り	4箱	5,184
イオンもりの里	乾電池単1・単3	各6パック	
	男性用靴下	12足	
	女性用靴下	8足	17,212
		合計	58,460

上記支援のほか、浅野太鼓楽器店様より、ブルーシート・ジョイント・ロープ・土嚢袋・ガソリン・使い捨てカイロ・布用消臭剤・シャンプーシート・肌着・靴下・洋服・お菓子などのご提供いただき、併せて支援物資とした。同社の浅野正規専務には物資の調達から今回の運搬までご協力いただいた。

(2024年1月19日)

*

*

*

今後も被災された地域の太鼓チームと連絡を取りながら皆様からお預かりした寄付金を用いて支援を行い、随時報告を行ってまいります。

1月18日現在、

全九州太鼓連合から100万円

関八州太鼓連合から10万円

東北太鼓連合から30万円

浅野太鼓楽器店から100万円

のご寄付を頂いております。

ありがとうございます。

頂いた寄付金を今回の支援物資購入に充当いたしました。

なお今回の支援に先行して、発災直後に東北太鼓連合から水、生理用品、使い捨てカイロ、カップ麺、マスク、手袋等を支援物資として石川県太鼓連盟に寄付いただき、江口信一郎代表、斎藤道夫前代表自らワゴン車を運転してお届けいただきました。ありがとうございました。

発災直後で物流が全く機能しなかったため、これら支援物資は金沢市の支援物資集積所にお預けし被災地支援に役立てました。

収支計算書(1/18現在)

(単位:円)

収入		
1/5	全九州太鼓連合	1,000,000
1/6	関八州太鼓連合	100,000
1/9	東北太鼓連合	300,000
1/18	浅野太鼓楽器店	1,000,000
計		2,400,000

支出		
1/11	輪島支援物資	121,741
計		121,741

収支差額		2,278,259
------	--	-----------